

エコアくまもと

「エコアくまもと」名称の意味

環境との調和を表す「エコ(ECO)」と、中心を意味する「コア(CORE)」を組み合わせ「エコア(ECORE)」とし、熊本県の環境保全と環境教育の拠点であることを表現しています。併せて、エコアの英字表記(ECORE)には、次の意味も含まれています。

“Environment Center Of Refuse & Education”＝「廃棄物と教育に関する環境拠点」

施設概要

施設種類:産業廃棄物管理型最終処分場
埋立面積:31,121㎡ 埋立容積:423,395㎡ 敷地面積:115,167.82㎡
浸出処理施設の処理能力:60㎡／日 建設期間:平成25年7月～平成27年10月

受け入れ廃棄物

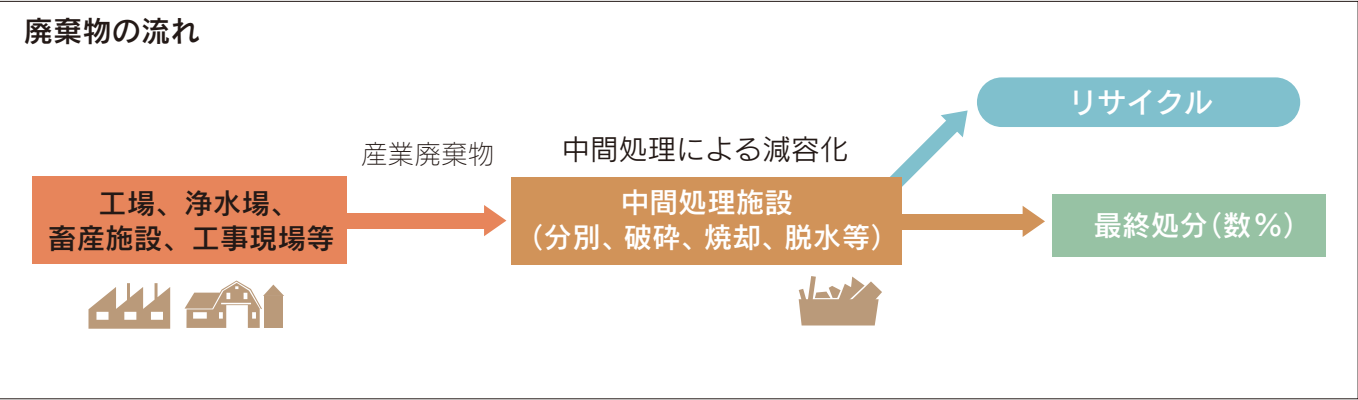
- 産業廃棄物
燃え殻、汚泥、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動物又は植物に係る固形状不要物(動植物性残さ)、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、鉱さい、コンクリート破片その他これに類する不要物(がれき類)、ばいじん、政令第2条第13号に規定する廃棄物(これらのうち、石綿含有廃棄物及び自動車等破碎物を含む)
- 特別管理産業廃棄物 廃石綿等
- 一般廃棄物 災害廃棄物等

最終処分場とは

廃棄物にはさまざまなものがあります。すべての廃棄物を資源化できればいいのですが、現実には資源化が困難な廃棄物や、中間処理(分別、破碎、焼却、脱水等)の過程で生じる残さが発生します。これらを受け入れる施設が最終処分場です。

下の図で分かるように、排出された廃棄物のうち、中間処理施設を経由して最終処分場に運ばれるのは全体の数％程度です。

熊本県公共関与産業廃棄物管理型最終処分場「エコアくまもと」は、豊かな自然と融和し、高度な安全性を備えた全国モデルとなる施設を目指して整備しました。



「エコアくまもと」の特徴 ～クローズド・無放流型～

「エコアくまもと」の施設の大きな特徴は、“クローズド・無放流型”といわれるものです。

“クローズド”とは、埋立地を屋根と壁(覆蓋施設)で覆い、外部環境と隔離することです。このことにより、埋立地内で発生するホコリや臭い、騒音を封じることができ、周囲の環境に影響を与えません。また、埋立地へ雨水の流入を防ぐことができるので、余分な水処理を行う必要がありません。

“無放流型”とは、埋立地内で発生した水を河川などへ放流しないことです。埋立地内では人工的に散水を行い、廃棄物に付着している汚れなどを洗い流しますが、その廃棄物に触れて汚れた水(浸出水)を水処理棟において、基準を下回るきれいな水に処理し、さらにその処理した水を再び埋立地の散水に循環利用します。このことにより、河川水質などに影響を与えません。また、散水を計画的に行うことで水処理の量や費用を抑えることができます。

クローズド・無放流型イメージ

